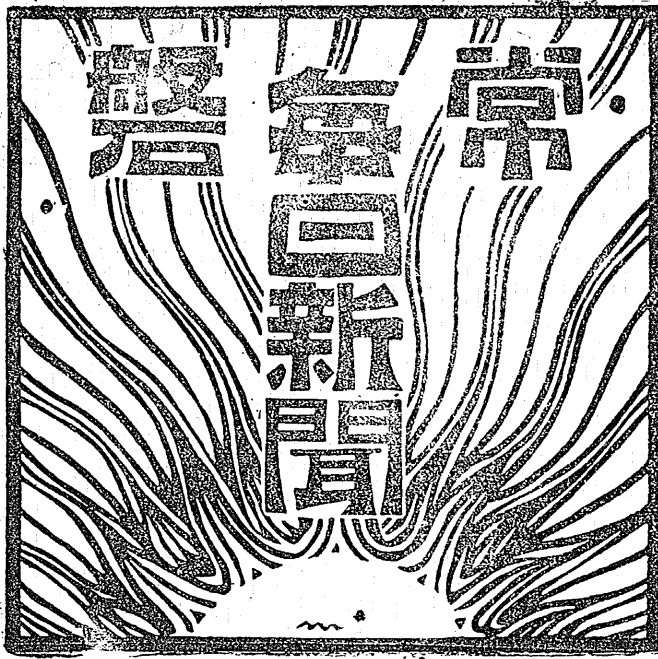


日刊 發行所 川崎 文 命



料(五)字一十行 日刊 料(五)字一十行 日刊

刊夕日一月八

九州遊記 (四) 鳥田忠夫

「お早やうゆふへはおよら...」



る。とある竹林で鶯のささ... 啼きを聞いた。街道はやが

貸家案内 白銀町 商人向 四〇、〇〇

和洋音楽合奏 磐城和洋音楽協會主演

座聲有 映畫と音楽の夕

常警文藝 七月雜詠 (一) さとう・きよ子

映畫と音楽の夕 一日二日兩夜六時半より開演

御新益用提灯 御注文(御戒名入)は 絶対他店ノ追従ヲユルサズ

オチラ 礦石受信機 拾五圓ヨリ

ツ三益玉炭の奨め 九通の玉炭は三井物産株式會社が多年研究の結果發明

大岡政談 伊匠巨 藤大輔 河内傳次郎 二人役

### 床次民政黨顧問脱黨 民政黨大混乱を呈す

#### 松田氏其他も同一行動

(東京電話)本日午前突如床次竹次郎氏は松田源治、櫻田幸雄、小林一太、八木逸郎諸氏の一族郎黨を卒ひて濱口民政黨總裁の手許に脱黨届を一つ提出し及んだ是れが爲め今後脱黨者續出の模様で民政黨は大動搖を來して居るが床次氏は今夕迄に聲明書を發表すべく政界は此の大衝動を受けて大混乱を呈して居る

### 尼子の祭禮

#### 三四の兩日

平町長橋町尼子稻荷神社にて三日宵祭、四日本祭に執行する筈であるが宵祭には境内及び登り坂に大燭光の電燈を灯し煙花を打ち揚げて活況を添ゆるの外餘興として少年歌舞伎芝居一行の演技三人三番叟、十段目忠臣藏三五六、鎌倉三代記阿波鳴門順禮子別れの場等々あり本祭には子供連の櫓御興各町を練り歩く

### 窪田檢事

#### 五日赴任の途に

半區裁判所から若松區裁判所檢事に榮轉した窪田檢事は五日午前九時廿五分平驛發赴任の途

### 子守を表彰

#### 幼兒を救助

石城郡川部村大字小川字上

二百町歩が

### 害虫に襲る

#### 四五割の減收

石城郡玉川村大字島、住吉の二部落では数日猛烈なる稲螟蟲に襲はれ鈴木郡農技手の出張指導を受け驅除に努めてゐるが同害虫の發生は過般大雨の爲に浸水した稲草の弱りへついたもので葉梢と莖の中間に食ひ入り養液を吸収してゐるので薬剤の効力で浸透されず驅除方法としては赤茶化した被害稲草を拔採るより手段がないので困つてゐるが面積は兩部落で約五百町歩に亘り目下の状況では四五割の減

### 平町吏員協談

#### 町長の土産談

平町役場では三十日正午から役場會議室内で吏員協談會を開き名簿事務の協議を

### 盗んだ兎を...

#### 酒の肴に舌づゝみ

#### 起訴猶豫中の若者

平町久保町荒川梅治方雇人山形縣生れ長谷川三治(一九)は大正十五年窃盜罪により起訴猶豫中の者であるが七月廿九日夜平町字大館石井龜吉方から兎五羽(代五圓)を窃取した外數ヶ所から兎を盗み酒の肴に食つてしまつた事平署に發覺廿一日捕はれた

### 雨降で落膽

#### 小名濱海水浴場

石城郡小名濱の今年の海水浴客は例年になく少なく浴客をあて込んで家屋の普請造作等をなした者は打續く雨降りし落膽し切つてゐるがそれでも八月に入れば或ひは相當の人数があるであらうと一縷の望みを囁して



#### アセモには

#### 桃の葉が妙藥

赤ん坊には殊にあせもが澤

#### 川部青年團が

### 盆唄を改善

#### 健全な娛樂に

陰曆お盆も近づいて石城名物のチャンガラ念佛稽古の鐘の音がぼつ／＼聞こえる様になつた農村唯一の娛樂である念佛踊の近づくに従つて従來の下卑な俗謡を改良し様々の眞面目な相談が青年團の議にあがる様になつたが去る三十日夜石城郡川部青年團小川分團では青年團の手によつて俗謡を改善しやうと第一回協議會を分團長宅に開催した

### 謹告

今回青森東京間長距離マラソンに付ては甚大の御後援に預り殊に錦地通過に際しては種々御便宜を御與へ被下且つ一方ならぬ御款待を辱ふし難有感謝仕候一々參趨御禮可申上の處末だ長走の途次に付き乍略儀以紙上御厚禮申上候

- 選手 鈴木喜政
- 同 百瀬清治
- 同 小林道之助
- 同 山川卓二

### 兎の耳

家なる泉村下川に所用の歸途同村八幡神社境内のくろがりから提灯をつけた勞働者風の男が突然飛蒐つてイトに暴行を加へんとして果さず所持金三十圓を強奪して逃走したが植田署の手配が遅れた傾きがあるので犯人の行衛が不明である

### 現地講習

#### 各所を見學

石城中堅農民第四回現地講習會は廿一日午前九時より磐崎村下船尾玉川村島兩實行組合に於て開催し郡農會より鈴木技師出張講演あり終つて午後一時より小名濱町東洋捕鯨會社肥料製造場及縣水産試験場測候所等を見學した

### 金を強奪

#### 犯人は逃走

廿九日夜九時半頃石城郡湯本町字八幡雜貨商鈴木仁左衛門の妻イト(三)假名が實山出來ますが本當に可愛想です。入浴の時桃の葉數枚を取りそれをよく揉んで其青汁で、あせもの上をひた／＼叩くやうにして洗へば非常によく治ります。

日焦に胡瓜 之から暑さが加はりますと日やけしますがそれを治すには胡瓜を